

# ■使用するドリフトピンについて■

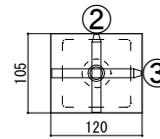
・柱断面に応じて以下のドリフトピンを使用してください。

番号	ドリフトピン	柱長・短辺寸法 (mm)
①	DP-85	90
②	DP-103	105
③	DP-118	120・135
④	DP-145	150
⑤	DP-160	180・210・240

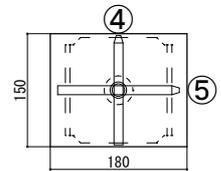
例：柱断面105×120

柱断面150×180

本体×1：P-90×1



本体×1：C-140×1



- ・LBを複数配置する柱断面の場合は下表にドリフトピンを使用してください。
  - ・ドリフトピンを「1本使用」する場合は下表のX方向・Y方向のいずれかのドリフトピンを使用してください。
  - ・ドリフトピンを「2本使用」する場合は下表のX方向・Y方向の両方向でドリフトピンを使用してください。
- ※①～⑤までの記号は上表を参照ください。

		長辺 (mm)			
		210	240	270	300
短辺 (mm)	105	本体×1：C-100L×1 	本体×1：C-100L×1 	本体×2：C-100S×2 	本体×2：C-100S×2 
	120	本体×1：C-100L×1 	本体×1：C-100L×1 	本体×2：C-100S×2 	本体×2：C-100S×2 

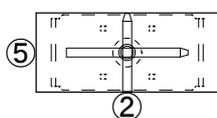
		長辺 (mm)			
		210	240	270	300
短辺 (mm)	135	本体×1：C-100L×1 	本体×1：C-100L×1 	本体×2：C-100S×2 	本体×2：C-100S×2 
	150	本体×2：C-100S×2 	本体×2：C-100S×2 	本体×2：C-100S×2 	本体×2：C-140×2 
	180	本体×2：C-100S×2 	本体×2：C-100S×2 	本体×2：C-100S×2 	本体×2：C-140×2 

		長辺 (mm)			
		210	240	270	300
短辺 (mm)	210	本体×2 : C-100L×2 	本体×2 : C-100L×2 	本体×2 : C-100L×2 	本体×3 : C-100L×3 
	240		本体×2 : C-100L×2 	本体×2 : C-100L×2 	本体×3 : C-100L×3 
	270			本体×4 : C-100S×4 	本体×4 : C-100S×4 
	300				本体×4 : C-100S×4 

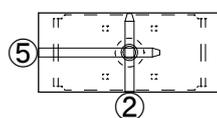
※ドリフトピンは「芯振り打ち込み」「面合わせ打ち込み」のいずれでもかまいません。

例：柱断面105×240

「芯振り打ち込み」

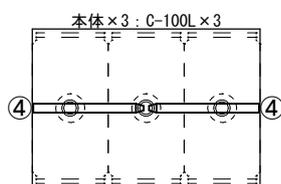


「面合わせ打ち込み」



※LBを「3個配置」する場合に柱断面長辺方向において、ドリフトピンが真ん中のLBに打ち込まれないこととなりますが、「金物1個あたり」の各耐力値を運用するので、耐力上問題ありません。

柱断面210×300



柱断面240×300

